

令和5年12月1日
作成 高山 幸

生活科「うごく うごく わたしのおもちゃ」



11月27日(月)に、本校の上田指導教諭による生活科の授業公開・協議会が行われました。東京都における指導教諭とは、「高い専門性と優れた教科指導力をもつ教員で模範授業などを通じて、教科等の指導技術を自校・他校の教員に普及させる職務を担う教員」のことを意味します。

上田指導教諭は4年2組の担任ですが、生活科の指導教諭であるため、2年2組の生活科の授業にも関わり、山田教諭とともに指導しています。

今回は、「うごくおもちゃ」をつかって遊ぶ活動に取り組みました。見本のおもちゃを見たり調べたりしながら、自分のつくりたいおもちゃを決め、身近にある材料を使ってつくります。作り方や材料を変えると、おもちゃの動きが変化するにも、また楽しみのひとつです。



どの子も夢中でしたが、わくわくしながら動かすと思うように動かないことも多くあります。「どこがいけないのだろう。」「どうすればよいのかな。」と、頭をひねらせます。自分で試行錯誤しながら進める子もいれば、友達のおもちゃを見つめてひたすら考える子、友達からのアドバイスをもらって再び取り組む子など様々です。

繰り返しつくる活動や友達との関わりを通して、見つける・比べる・例える・試す・見返す・工夫するなど、思考力の基礎となる多様な学習を進めています。

